

# 全医労青年部ニュース

全日本国立医療労働組合

2018年7月19日発行

No.32

前年を超える多数の参加者！  
笑顔あふれる青年部が、  
組織拡大の力に！

〜関東信越地方協青年集会〜

6月16日・17日に新潟県・越後湯沢で行われた「ユースフェスタ（全医労関信青年集会）2018」に、前年を超える81名が参加。そのうち「新人と初参加者」が5割を超えました。

集会では、体育館が急な工事のため使用できなくなったため、臨時の青年委員会を開催し、青年部の仲間たちがアイデアを出し合い、室内でも楽しめる交流企画を考えました。

はじめに、みんなで仲良くなれる企画、「ドキドキ巨大風船割り」や「棒サツカー」、陸のカーリング「ボツチャ」では、班対抗で豪華賞品をかけて対戦をしました。班で仲良くなったあとに、テラス席でBBQの夕食を堪能。

夕食後には「打ち上げ花火」と「大交流会」で盛り上がりました。先輩たちによる模擬団交（寸劇）の上演は、「パワハラとは」で笑いながら学習しました。

2日目は、キャンプ場に移動して、飯盒炊爨（はんごうすいさん）でカレーライス調理体験でした。前日の班対抗規格での豪華景品は、カレーライス



のトッピング。優勝班は、和牛の塊を炭火で焼いてトッピングしていました。なかには、柿のタネをトッピングする班もあり、美味しいカレーと特徴的なカレーなど、思い出に残るキャンプ体験でした。

今年も交流が盛んにおこなわれ、支部と職種を超えた団結が生まれました。

ダイナマイトまで

あと63日！（7月19日時点）

〜ダイナマイト現地実行委員会〜

6月30日にダイナマイト・ゼンイロウin岡山の現地実行委員会を開催しました。午前中は3日目の学習会についての事前学習として、川谷宗夫氏（NPO）朝日訴訟の会事務局長を講師に「朝日訴訟（※）」について学びました。

今回のダイナマイトでは社会保障について学習をします。「そもそも社会保障とは何か」「朝日訴訟とは？」ということについて実際に朝日茂資料館を見て、その後講義を聞き学びました。今回開催される岡山県だからこそこのことについて学びたいと思い企画しました。

午後からはダイナマイト初日、2日目の企画についてと、中国地方協青年部として財政活動で何を販売するかについて話し合いました。初日から夕食交流会までの間、「どんなことをすれば参加者同士が仲良くなれるか」ということを考え企画を立てました。

2日目については、前回の「青年フェスタ（中国地方協青年集会）」18で実際に倉敷を散策した意見を取り入れながら、楽しい企画がほぼ決まりました！

現地実行委員は全国の国立病院・ハンセン病療養所・高度医療専門研究センターで働く青年に会えることを楽しみに待っています！

## ※朝日訴訟とは？

長期重症結核患者として国立岡山療養所（現：国立病院機構 南岡山医療センター）に入所していた朝日茂さん。朝日訴訟では、朝日さんが生活扶助費月額600円（現在：約6000円/月）を受給している朝日茂氏が、この額では憲法第25条の「最低限度の生活水準」を維持するには足りないとして、国に改善を求めて起こした行政訴訟。

